

一、今日ノ解備ハ會社職工規則(第三條)ニヨル懲戒
 處分デアル
 一、懲戒處分ニ依ル解備テアルカラ元ヨリ手當ヲ支
 給ス、キ筋合ノモノデハナイ
 一、係シ今日限リ會社ノ好意上特ニ餞別ノ意
 味デ之ヲ支給シタノデアル
 右以上説明ニ亘ラサル事

大正十一年三月四日
 横濱市戸部六ノ一七三

労働月報號外

編輯兼印刷 齋藤健一
 發行所 横濱造船工組合
 横濱市南吉田町五百廿
 印刷所 牧野商店印刷部
 毎回一日發行 一部十錢

心を落ち着けて會社の回答を讀め

- 一、此年一年は決して解雇しないから、安心せよ
 今年一年解雇しないから安心せよと云つても、來年は一体どうして呉れるのだ。軍縮の影響は直ちに來ると後から來るのがある。今年一年解雇しないからと云つて、それが軍縮の影響は無いと云ふ辯解にはならない。従つて、解雇手當を定める必要が無いなどと云ふ乱暴なことは云へない筈だ。こゝに廿才の青年があるとして、今年一年は徴兵検査が無いからもう検査には用がないなどとは云へない譯けだろ。これからは、少く共定時間を持続する積りて居るから安心せよ。
- 二、而し諸君よ、日曜祭日は休業にすることは止むを得ないと云ふし、分増は減るだらうし、産業は勿論ないんだが、それで安心して、生活なし得る丈けの君は収入があるのか。あはて、はいけない。ゆつくとツロバンでも出して計算して見給へ。會社では、日曜祭日毎に休むことは、世界の大部分であると云つて居る。なる程それに違ひない。こちらで云ふことを向ふて云つて居る。苦笑せざるを得ない。けれ共考へて見ろ。その世界の大部分に副ふ様な、高い日給を君は取つて居るか。日給だけは人間並でなくて、休日だけは世界の大部分とは、あされかへつて物が云へない。
- 三、解雇手當は關東同業者と同等に支給するから安心せよ。